

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年12月23日(2022.12.23)

【国際公開番号】WO2020/131961
 【公表番号】特表2022-516415(P2022-516415A)
 【公表日】令和4年2月28日(2022.2.28)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-035
 【出願番号】特願2021-535042(P2021-535042)
 【国際特許分類】

10

A 6 1 F 13/535(2006.01)
 A 6 1 F 13/53(2006.01)
 A 6 1 F 13/539(2006.01)
 A 6 1 F 13/15(2006.01)

【FI】

A 6 1 F 13/535 1 0 0
 A 6 1 F 13/53 3 0 0
 A 6 1 F 13/535 2 0 0
 A 6 1 F 13/539
 A 6 1 F 13/15 3 2 3

20

【手続補正書】
 【提出日】令和4年12月15日(2022.12.15)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

30

長手中心線と該長手中心線に対して横断方向である横中心線とを有する吸収性コアであって、

第1の吸収性コア構成、
 を含み、

前記第1の吸収性コア構成は、

複数の横方向に離間した繊維状構成であって、各繊維状構成が前記長手中心線とほぼ平行に又はそれと一致して延び、各繊維状構成が不織布を含む前記複数の横方向に離間した繊維状構成と、

前記繊維状構成の第1の側に位置決めされた第1の不織シートと、

前記繊維状構成の前記第1の側と反対の該繊維状構成の第2の側に位置決めされた第2の不織シートと、

40

を含み、

前記第1の不織シートは、隣接する横方向に離間した繊維状構成間の場所で前記第2の不織シートと結合され、

前記第1の吸収性コア構成は、更に、

各繊維状構成の前記不織布内に配置され、前記第1及び第2の不織シート間に位置決めされた吸収材料、

を含む、

ことを特徴とする吸収性コア。

【請求項2】

50

前記第 1 の不織シートによって少なくとも部分的に定められ、2 つの隣接する横方向に離間した繊維状構成の間にかつ該第 1 の不織シートの上方に各々が位置決めされたチャンネルを更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性コア。

【請求項 3】

各チャンネルが、前記第 1 の不織シートの折り目と一致することを特徴とする請求項 2 に記載の吸収性コア。

【請求項 4】

前記チャンネルには吸収材料がないことを特徴とする請求項 2 に記載の吸収性コア。

【請求項 5】

前記第 1 の不織シートは、隣接する横方向に離間した繊維状構成間の場所で前記第 2 の不織シートに接着されることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性コア。 10

【請求項 6】

前記第 1 の不織シートは、隣接する横方向に離間した繊維状構成間の場所で接着ビードを通じて前記第 2 の不織シートに接着されることを特徴とする請求項 5 に記載の吸収性コア。

【請求項 7】

第 1 の不織シート上の折り目を更に含み、

各折り目が、2 つの隣接する横方向に離間した繊維状構成間に位置決めされ、

各折り目が、吸収性コアの前記長手中心線とほぼ平行に又はそれと一致して延びる、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性コア。 20

【請求項 8】

前記折り目に沿って少なくとも部分的に折り畳み可能であることを特徴とする請求項 7 に記載の吸収性コア。

【請求項 9】

吸収性コアが、前記折り目に沿って折り畳む前の第 1 の横方向広がり及び該折り目に沿って折り畳んだ後の第 2 の横方向広がりを有し、

前記第 1 の横方向広がり、前記第 2 の横方向広がりより大きい、

ことを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性コア。

【請求項 10】

前記折り目に沿って折り畳まれた時にほぼ W 字形の横断面を有することを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性コア。 30

【請求項 11】

前記 W 字形横断面は、吸収性コアの股領域内であることを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性コア。

【請求項 12】

折り畳まれた時に、前記複数の横方向に離間した繊維状構成のうちの 2 つが、吸収性コアの横方向に位置決めされた翼セクションを形成することを特徴とする請求項 8 に記載の吸収性コア。

【請求項 13】

前記横方向に位置決めされた翼セクションは、吸収性コアの全幅の約 20% から 40% に等しい横幅を有することを特徴とする請求項 12 に記載の吸収性コア。 40

【請求項 14】

前記第 1 の不織シートは、波状外面を有し、前記第 2 の不織シートは、平坦外面を有し、前記複数の横方向に離間した繊維状構成は、該第 1 及び第 2 の不織シートの内面間に位置決めされることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性コア。

【請求項 15】

各横方向に離間した繊維状構成が、その横方向側縁に沿って密封されることを特徴とする請求項 1 に記載の吸収性コア。

【請求項 16】

吸収性物品であって、 50

吸収性コアと、
 裏面シートと上面シートとを含むシャーシと、
 を含み、
 前記吸収性コアは、前記上面シートと前記裏面シートの間に位置決めされ、かつ該裏面シートと結合され、
 前記吸収性コアは、長手中心線と該長手中心線に対して横断方向である横中心線とを有し、
 前記吸収性コアは、
 第 1 の吸収性コア構成、
 を含み、
 前記第 1 の吸収性コア構成は、
 複数の横方向に離間した繊維状構成であって、各繊維状構成が前記長手中心線とほぼ平行に又はそれと一致して延び、各繊維状構成が、繊維を有する不織布を含む前記複数の横方向に離間した繊維状構成と、
 前記繊維状構成の第 1 の側に位置決めされた第 1 の不織シートと、
 前記繊維状構成の前記第 1 の側と反対の該繊維状構成の第 2 の側に位置決めされた第 2 の不織シートと、
 を含み、
 前記第 1 の不織シートは、隣接する横方向に離間した繊維状構成間の場所で前記第 2 の不織シートと結合され、
 前記第 1 の吸収性コア構成は、更に、
 各繊維状構成の前記不織布の繊維内に配置され、前記第 1 及び第 2 の不織シート間に位置決めされた吸収材料、
 を含む、
 ことを特徴とする吸収性物品。

10

20

【請求項 17】
 前記第 1 の不織シートによって少なくとも部分的に定められ、2つの隣接する横方向に離間した繊維状構成の間にかつ該第 1 の不織シートの上方に各々が位置決めされたチャンネルを更に含むことを特徴とする請求項 16 に記載の吸収性物品。

【請求項 18】
 吸収材料と不織布の複合物を含む繊維状構成を作る方法であって、
 第 1 の面と第 2 の面とを有する不織布を与える段階と、
 吸収材料を含有する強制気流を前記不織布の上にかつそれを通して通過させる段階であって、該吸収材料の少なくとも一部が、該第 1 の面と前記第 2 の面の間で該不織布内に捕捉される前記通過させる段階と、
 を含み、
 前記通過させる段階は、前記吸収材料の粒径の勾配分布が前記第 1 の面と前記第 2 の面の間で前記不織布内に形成されるように、該吸収材料の少なくともいくつかを少なくとも部分的に該不織布を通して濾過する段階を含む、
 ことを特徴とする方法。

30

40

【請求項 19】
 前記不織布を粘着化する段階を更に含むことを特徴とする請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】
 長手中心線と該長手中心線に対して横断方向である横中心線とを有する吸収性コアを作る方法であって、
 不織布を吸収材料と組み合わせて、該吸収材料を保持する該不織布の繊維網を含む繊維状構成を形成する段階と、
 前記繊維状構成を複数の繊維状構成に分離する段階と、
 第 1 の不織シートを前記繊維状構成の第 1 の面の上に結合する段階であって、
 該複数の繊維状構成が横方向に離間している前記結合する段階と、

50

前記第 1 の面の反対側の前記繊維状構成の第 2 の面の上に第 2 の不織シートを位置決めする段階と、

隣接する横方向に離間した繊維状構成間を延びる接着線に沿って前記第 1 の不織シートを前記第 2 の不織シートと結合し、第 1 の吸収性コア構成を形成する段階と、
を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2 1】

前記不織布を前記吸収材料と組み合わせる段階は、不織布形成繊維を該吸収材料の上に押し出す段階を含むことを特徴とする請求項 2 0 に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記不織布を前記吸収材料と組み合わせる段階は、吸収材料を含有する強制気流を該不織布の第 1 の面の上にかつそれを通して通過させる段階であって、該吸収材料の少なくとも一部が該第 1 の面と前記第 2 の面の間で該不織布内に捕捉される前記通過させる段階と、該吸収材料の粒径の勾配分布が該第 1 の面と該第 2 の面の間で該不織布内に形成されるように該吸収材料の少なくともいくつかを少なくとも部分的に該不織布を通して濾過する段階とを含むことを特徴とする請求項 2 0 に記載の方法。

10

20

30

40

50